

大町病院を守る会会報

No. 39

2015年5月発行
大町病院を守る会
発行責任者北村喜男



新年度の守る会の取り組み決まる (総会報告)

自然観察と山菜採りは5月31日(日)

夏に地引網・秋はキノコ狩りと茸鍋・冬は雪遊び交流会

市立大町総合病院を守る会は5月10日午後2時から大町市役所東大会議室において第6回総会を開催し、北村喜男会長が挨拶の後、議長に就任し新年度の取り組みを決定しました。田植えが重なったこともあり出席者は最終35名、委任状120名の合わせて155名で、来賓として牛越徹大町市長、諏訪光昭長野県議会議員、井上善博大町病院長が祝辞を述べられました。総会后青木俊樹大町病院副院長・脳神経外科部長の公開講演会が開催され、100名を超える参加者で盛り上がりました

活動の経過概要

結成5年目の取り組みは、プランターへの花植え、病院祭のお手伝い、役員体制の確立、公開講演会、新任医師・職員の歓迎会、医師・職員との交流を深め大町の良さを再認識してもらうための春季・山菜とり、秋季・キノコ汁、冬季・雪遊び交流会を開催した。(夏季・地引網は中止)庭木の剪定作業、花の植栽・ガーデニング、ありがとうメッセージの取り組み、会報の発行、会員の拡大などを取り組みました。イルミネーションは「被災者収容施設」建設工事のため休止しました。2月には産科医の確保のため大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村の協力を得て、自治会、PTA、商工・農業・労働団体、サークル、街頭などきめ細かな要請署名を取り組みました。2月3日と4月23日阿部守一県知事宛て48,956筆、4月27日信大病院本郷一博病院長宛て43,710筆を提出し要請しました。また、財政確立のため市内の企業への協賛金の依頼など、様々な活動を取り組みました。

会議等の状況は次の通りです。

四役会 6回 幹事会 6回 講演会 1回 会員数 235名 団体会員 25団体 会報発行 8回

(2) 平成26年決算報告

収入の部

項目	当初予算	2月補正	決算	比較	説明
繰越金	79,111	79,111	79,111		
会費	250,000	250,000	257,000	7,000	
寄付金	50,000	280,000	280,000		
雑収入	889	10,889	25,989	15,100	
補助金	0	40,000	40,000		社協補助金
合計	380,000	660,000	682,100	22,100	

支出の部

項目	当初予算	2月補正	決算	比較	説明
謝礼	50,000	50,000	44,300	5,700	謝礼
使用料	10,000	30,000	23,000	7,000	懇談会場料
印刷費	30,000	20,000	18,358	1,642	会報
通信費	130,000	150,000	145,054	4,946	会報郵送料
保険料	10,000	20,000	17,220	2,780	保険料
消耗品費	100,000	210,000	208,222	1,778	用紙・インク・封筒他
食料費	20,000	50,000	45,188	4,812	作業お茶代他
予備費	30,000	130,000	0	130,000	
合計	380,000	660,000	501,342	158,658	

682,100-501,342=180,758

残 180,758 円は次年繰り越し

平成 26 年度会計監査報告

- 1、 実施日 4月 16日
- 2、 場 所 大町公民館分室 会議室
- 3、 監査項目 金銭出納および証拠書類
- 4、 立会人 北村喜男 高橋博久
- 5、 監査結果 上記事項について適正に処理されていることを認めます。

会計監査 西澤 忠司 ⑩
内山 博 ⑩

本年度の具体的な取り組みの日程決まる

◇会員の拡大・・・随時

◇四季の医師・職員家族との交流会・・・会員・職員・医師の皆さんふるって参加ください

- 春 5月31日(日)・・・自然観察・山菜採りと山菜料理で交流…参加費・・・500円
夏 8月9日(日)・・・地引網(木崎湖キャンプ場)午前8時～ 参加費・・・500円
秋 10月4日(日)・・・キノコ狩りとキノコ汁(大黒町公有林)参加費・・・500円
冬 1月31日(日)・・・雪遊び「かんじき、ソリ・雪上車」(中山高原)参加費・500円

◇地域懇談会・講演会

- ・病院の医師をお願いし講演と懇談会をセットで開催

◇新入職員歓迎会(病院と共催)

◇研修医などの歓迎会

◇役員学習会



◇花壇の草取り 8月23日(日) 午前6時30分玄関前集合

◇庭木剪定 10月25日(日) 午前9時玄関前集合

◇ありがとうメッセージの開扉

8月5日(水) 2月4日(木)

◇イルミネーションの設置・・・11月15日(日)午前10時～ 点灯・・・11月20日(金)午後18時～

◇会報の発行



辞：牛越徹市長

来
賓
祝



諏訪光昭県議会議員



井上善博病院長

平成 27 年度予算が決まりました

収 入

(単位:円)

科 目	金 額	積 算 内 訳
繰 越 金	180,000	
会 費	250,000	
地域公設医療機関支援活動負担金	500,000	
寄 付 金	9,000	
雑 収 入	1,000	
計	940,000	

支 出

費 目	金 額	積 算 内 訳
謝 礼	100,000	講師等謝礼(費用弁償込)
事 業 費	250,000	春・夏・秋・冬交流会の企画運営他
使 用 料	20,000	講演会、懇談会会場使用料、車両借上
印 刷 費	40,000	会報印刷、封筒印刷、議案書印刷
通 信 費	200,000	郵送料、ハガキ
旅 費	40,000	市外出張旅費
保 険 料	40,000	ボランティア保険等
消 耗 品 費	140,000	事務用品、花壇整備用品
食 糧 費	50,000	懇談会、医師懇談会、作業、お茶・菓子代
予 備 費	60,000	
計	940,000	

会費は個人会費年間 1,000 円、団体会員 2,000 円です。

会費納入は病院の医事課小林補佐にお預けください。守る会へ届きます。

※ 今総会で会則の第 7 条（役員）改正がされ、役員に顧問が置かれました。

退任役員 松澤郁子副会長・宮脇哲子事務局次長・竹田保二・松本武子幹事

長い間お疲れさまでした

27年度役員決まる

顧問	松澤 郁子	幹事	清水 あさひ (常盤)
会長	北村 喜男	幹事	中島 節子 (常盤)
副会長	海川 明文	幹事	(八坂)
副会長		幹事	酒井 孝芳 (美麻)
事務局長	種山 博茂	幹事	篠崎 久美子 (白馬)
次長	塩原 義夫	幹事	田中 栄一 (白馬)
次長	渋谷見博	幹事	小池 利治 (小谷)
次長	田中 秀司	幹事	(松川)
次長	高橋 博久	幹事	(池田)
幹事	種山 良治 (大町)	幹事	海川 仁志 (市職労)
幹事	柳沢 英幸 (大町)	幹事	松澤 みさお (病院労組)
幹事	小林 千恵子 (大町)	幹事	北澤 愛子 (女性団体)
幹事	神社 正幸 (大町)	幹事	勝野 稔 (行政)
幹事	江津 悌雄 (大町)	幹事	鳥屋 寿和 (行政)
幹事	磯貝 匡弘 (大町)	幹事	赤羽 健次 (体育協会)
幹事	丸山 令江子 (大町)	幹事	三村 恵巨 (大町北高)
幹事	黒岩 良介 (大町)	幹事	勝野 健一 (病院)
幹事	太田 美知子 (平)	幹事	北澤 一人 (病院)
幹事	松尾 忠久 (平)	幹事	(団体)
幹事	(社)	監事	内山 博
		監事	西澤 忠司

青木俊樹先生講演会に 100 余名

演題 「脳卒中と認知症の予防」



公開講演会のようす

あなたは気をつけていますか？健康を守るのは自分です
自分の病気で他人に迷惑をかけてはいけません！！



総会に引き続き午後3時より青木俊樹先生（市立大町総合病院副院長・脳神経外科部長）が「脳卒中と認知症の予防」と題して1時間半にわたり講演が行われました。途中、緊張を解く運動を入れての講演会となりました。またこの講演会の冒頭先生は大町病院へ赴任した理由の1つに守る会の活動があったとの私たちにとってうれしい言葉をいただきました。

講演要約

脳外科では脳卒中の治療をしているが、なってしまうと後遺症も残り介護や治療の負担も大きい。予防が大事。家庭血圧を測定して起床時と就眠時の血圧を135/85以下にしましょう。健康診断で指摘された異常値は積極的に改善しましょう。お酒の適量は1日1合で週に2回の休肝日をとりましょう。認知症の予防も高血圧や食後高血糖（200以上）を抑えることが大事です。①食事は野菜から食べてバランスよく、②運動は一日40分：大腿四頭筋を鍛えるために腿を高く上げるつま先を上げる事を意識して運動しましょう、冬は歩かなくても足踏みで十分です。③6時間以上の睡眠の3つがうまくいけば血圧、血糖が安定します。夜中に2回以上起きる人は呼吸が止まる睡眠時無呼吸のいびきに気をつけましょう。



講演会終了後、青木俊樹先生の慰労会が会費制で、13名が出席し盛大におこなわれました。

「お酒は定量を守って」と講演で聞きましたがいざとなると、明日の分を前取りして飲んでしまうという人もおりました！？

要請署名は 4万8千余筆 知事と・信大病院長へ届ける 要請署名に協力いただいた皆さまに感謝

大北地域医療推進会議（小野壽太郎大北医師会長） と大北5市町村長、中島副知事に要請

大北地域医療推進会議と守る会は、4月23日午後4時30分から県庁で中島副知事に48,956筆の署名を携え産科医確保の要請をしました。県はドクターバンクを活用し、すでに産科医1名を大町病院へ配置しています。この尽力に感謝しつつ、さらに出産のできる医師の配置を要請しました。これに対して中島副知事は「出産を経験した者として、大北地域の8割を超える住民の署名の重さをしっかり受け止め、居住地近くで分娩できるよう医師確保に努力したい。」と答えました。



信州大学附属病院本郷院長へは43,710筆を提出し要請



4月27日、市長、守る会北村会長、種山事務局長、高橋次長は信州大学医学部附属病院本郷一博先生には院長室を訪問し、要請書とともに署名43,710筆を手渡し要請しました。この中で本郷病院院長は「住民の8割を超す4万3千人の署名は大変重たく受け止めている。全国的な医師不足の中で努力はしてまいりたいがすぐというわけにはいかないことも理解してほしい。」と述べられました。

深松先生は快復途上、お見舞いに元気に応える

要請署名提出と合わせ4月27日、深松先生をお見舞いしました。先生のお見舞いは病棟2階の談話室で行われ、先生は元気に回復されて来ており、短時間でしたが元気に談笑されました。みなさんから寄せられました「ありがとうメッセージ」をリボンのついた封筒に入れてお渡ししました。先生はお見舞いとメッセージに対し、「皆さんによろしく」と感謝を述べられました。

大北地域医療推進会議、県議会議員に要請

2月24日大北地域医療推進会議は3月定例会議中の長野県議会を訪問し、風間辰一議長に産科医師確保と周産期医療の維持を求め、国への意見書の提出を求めました

県議会では諏訪県議等が質問に立つ

2月県議会中の2月27日、高村京子、諏訪光昭県議が大町病院の産科医師確保の件を質問しました。県議会終了後これらの要請を受け、県議会は総理大臣と厚生労働大臣あて「地域で安心して産み育てることができる体制の維持・充実を求める意見書」を提出しました。

プランターにペチュニアを植えました



5月10日午前10時から病院玄関前で90ポットのペチュニアをプランターに植えました。高木哲先生や研修医の角田駿先生も参加されました。花は今シーズン通して咲き続けます。カラフルな手差しはKさんの差入れです。みなさんお疲れさまでした。ありがとうございました。